

⑤	④	③	②	①
ア	かるた	ア	広い庭がある大きなおやしき	サッカー
×				
イ				
×				
ウ				
×	こんぺいとう			ランドセル
エ				
○				

「かいせつ」

(1) 「外国で使っていたことばをそのままかりた」のところにある言葉は「サッカー」「ランドセル」の二つである。

(2) アメリカではマンションとは「広い庭がある大きなおやしき」のことである。

(3) 「コンビニ」は、えい語の「コンビニエンス・ストア」を日本人が勝手にちぢめてしまったためにできた言葉。そのため、アメリカ人には「コンビニ」では通じない。

(4) ひらがなで書かれているが、元は外国語から来た言葉は「かるた」と「こんぺいとう」の二つである。

(5) アは、「ランドセル」の元はドイツ語なので×

イは、「なんのことかわかりません」とあるので×

ウは、ひらがなで書かれているものもあるので×

エは、一番後ろに書いてあるので○。

⑤	④	③	②	①
イ	ぎ	ア	ウ	ハチ
	た			
	い			
				どくグモ

「かいせつ」

(1) — ①線部のすぐあとの「ハチやどくグモなどがそうです」という部分からぬき出す。

(2) 「それ」とは、虫が出したどく。 — ②線部の前に書いてあるのはどくのこと。

(3) コノハチヨウが羽をたたむのは、森の中でてきに見つかからないようにするためである。 — ③線部のあとに書いてある。

(4) 「このような方ほう」をあらわす三字のことは「ぎたい」である。 — ④線部の前に書いてある。

(5) ハナカマキリは花の近くでじっとすることで、自分に気づかず花に近づいてきた虫をつかまえ食べてしまう。終わりの方の文に書いてある。

「
」はなくてもよい

⑤	④	③	②	①※
の	今	エ	イ	ア
よ	で			
う	言			
な	う			
ゲ	ト			
ー	ラ			
ム	ン			
	プ			

「そんなの、日本語にきまっているよ。」

「かいせつ」

(一)「たしかにその通り」というのは、前の答えを受けての言葉。そのためすぐ前の「そんなの、日本語にきまつているよ。」の一文が答えになる。

(2) — ②線部のすぐ前に書いてあるように、外国から日本にやってきたとき、それを表す日本語がなかったの
で、外国語をそのままかりたのである。

(3) — ③線部の少し前に書いてあるように、アメリカではマンションとは「広い庭のある大きなおやしき」のことである。

(4)「日本語にしか見えない」のは、かるたもこんぺいと
うも、古くから日本にあるものだから。

(5) ポルトガル人は「ランプのようなゲーム」のことをカルタとよんでいたのである。



⑤	④	③	②			①
イ	コノハチヨウ	エ	ら	と	ぴ	ア
			さ	て	か	
			き	も	ぴ	
	ナナフシ		色	き	か	
				れ	と	
				い	光	
				な	る	
				む	、	

「かいせつ」

(1) 虫より大きな人間でも、虫のどくが強ければ死んでしまうこともある。――①線部の前に書いてある。

(2) ―②線部の二行前から書いてある。

(3) ナナフシの体のせつ明は二つあるが、「茶色く細長い体」は木のえだに「ぎたい」するためである。

(4) どくを持っておらず、自分の身を「ぎたい」でかくしている虫を文章中から二つえらぶ。

(5) ハナカマキリは「ぎたい」を使って、自分を守るのではなく、えものをおびきよせ食べてしまうのである。



⑤			④	③	②	①
う	す	女	ウ	エ	ア	中国
に	こ	の				
	や	子				
	か	が				
	に	美				
	育	し				
	つ	く				
	よ	、				

「かいせつ」

(1) 三行目に書いてあるように、中国の風習が日本にひなまつりとしてつたわったものである。

(2) 紙で人形を作っていたのは、川に流してしまっていたからである。

(3) ③線部の少し前に『ひいな』と、行事に使われていた人形とがむすびついて、今のひな人形になった」とあるので、答えはエになる。

(4) 昔のひなだんは二体だけのものだったが、今では七だんあるようなものも多い。

(5) 両親のねがいを表す言葉^ばを十八字で本文中からぬき出すので、④線部のすぐ前の「女の子が美しく、すこやかに育つように」が答えになる。



⑤	④	③	②	①
両親	ア	エ	ウ	イ

「かいせつ」

(1) 本文の終わり^おに書いてあるように、今ではひなまつりは女の子のための行事なので、女の子がいる家にある。

(2) ②線部のすぐあとに書いてあるように、紙でできた人形を川に流すのは、自分の悪いところを紙人形に引き受けてもらうためである。

(3) 「今のようないひな人形」は見た目も美しく、ごうかいひな人形。②線部の前や、④線部のあとに書いてある。

(4) ④線部のあとに書いてあるように、はじめのころのかざりびなは、一番上にかざられている二体だけで一だんのものであった。

(5) 本文の終わりに書いてあるように、「女の子が美しく、すこやかに育つように」とねがって人形を買うのは女の子の両親である。